

〔法学新報〕第十九卷四(二一九)号

明治四十二年四月一日

○中央大学英語会 去る二月十八日(日曜)午後一時半より中央大学講堂に於て開催せる英語会は其趣旨とするところ斯界の大家に講演を請ふて学生に模範を示し中央大学各科に於ける各級より選手を出して競争英語演説を為さしめ之か優劣を審査して賞品を与へ以て英語研究奨励の一助と為さんとするに在り当日は定刻に至り司会者廣井講師は先つ起て本会開催の趣旨を述べ且つ此有益なる会合をして将来益々發達せしめんには一に諸子の奮励に待つとの旨を諭され次て選手の演説に移り神谷隆之助(英語専修科生) 橘彌吉(法律科二年生) 廖恩煦(経済科三年生) 宇佐美進(予科生) 廣田正躬(同上) 柳澤仲衛(法律科一年生) 中村勝一(経済科二年生) の諸子代るゝ得意の演題を掲げて滔滔雄弁を振ひ夫より右審判委員ルーズ講師立て懇切に之か批評を為し了はりて審判委員長清水、廣井の両講師等と協議の上優等者を廖恩煦(第一等) 神谷隆之助(第二等) 橘彌吉(第三等) と決定し夫夫賞品を授与し最後に佐藤顯理氏登壇「日本の現状」に付て流暢なる講演を試みらる斯日生憎雨天なりしにも拘はらず聴衆は二百余名を算するに至りたり